

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

■ 計画 ■ 事業化  事業 ■ 管理

個10事04

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	02 ロジスティクスハブ機能の強化		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	10 臨海部道路ネットワークを充実する						
事務事業名	04 鍋田ふ頭道路(進入)整備事業		継続	拡大	維持	連絡先	052-654-7921
目的	鍋田ふ頭と背後地の新たなアクセス路を確保し、ふ頭内の車両の渋滞解消を図ります。					連携課	工事課、港湾工事事務所
概要	整備場所:愛知県弥富市富浜～鍋田 内容・規模:臨港道路整備(延長2.3km、幅員3.5m×4車線) 総事業費:155億円 事業手法:補助事業					事業期間	平成9～27年度 (Ⅰ期線:平成9～24年度) (Ⅱ期線:平成22～27年度)
事業着手時点の評価	鍋田ふ頭からの交通量が増加していることから、背後の広域幹線道路網と連携した臨港道路を整備することにより、物流の効率化を図ります。費用対効果(B/C)はⅠ期線が1.2、Ⅱ期線は鍋田ふ頭プロジェクトとして算出した結果5.5となっています。					根拠法令等	社会資本整備重点計画 名古屋港湾計画
24年度の実施予定	Ⅰ期線において橋梁上部工及び道路築造(Ⅰ期線完了予定)、Ⅱ期線において橋梁下部工を行う予定です。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
						関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	Ⅰ期線において橋梁上部工及び道路築造(Ⅰ期線完了)、Ⅱ期線において橋梁下部工及び道路築造を行いました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節、算出方法等)
総事業費計	千円	873,000	828,000	950,900	926,400	1,130,000	(款項目節) 歳出: 建設費/整備費/改修費/委託料 建設費/整備費/改修費/工事請負費 建設費/整備費/改修費/補償/補填及び賠償金 (算出計算式) 本組合の負担割合は、総事業費の2分の1 (その他) 人件費は21年度まで名管事業費に含まれ、22年度以降は、事業費の対象外となっています。 事業費については最終確定額ではありません。
国費	千円	436,500	414,000	475,450	463,200	565,000	
名管 一般会計	千円	436,500	414,000	475,450	463,200	565,000	
事業会計	千円						
人員費相当額計	千円	0	0	1,781	1,465	3,661	
正規職員	人	0.00	0.00	0.21	0.17	0.42	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計(国費除く)	千円	436,500	414,000	477,231	464,665	568,661	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	27	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	5.6	5.6	5.7	5.9	7.3	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。
	実績	5.6	5.3	6.1	6.0	7.3			
	達成率(単年度%)	100.0	94.6	107.0	101.7	100.0			
	達成率(累計%)	33.6	38.9	45.0	51.0	58.3			
達成率、事業進捗率の補足説明									

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			貨物量の増加に伴い交通量が増加しており、引き続きコスト縮減に留意しながら事業を進めるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
関係者と調整を図りながらコスト縮減に留意し、事業推進に努めていきます。				